

手技名	内容
① 単刺術 (たんしじゅつ)	刺入したら すぐに抜鍼 。動揺させず軽い刺激。
② 雀啄術 (じゃくたくじゅつ)	目的の深さで 鍼を上下に進退 させる。上下動の速さや深さで刺激の強さを調整。
③ 間歇術 (かんけつじゅつ)	刺入後、 半分抜きしばらく留め、再度刺入ししばらく留める を繰り返す。
④ 屋漏術 (おくろうじゅつ)	1/3ずつ刺入しながら各所で雀啄 。刺入と逆順で抜鍼。
⑤ 振せん術 (しんせんじゅつ)	鍼柄を 刺手でつまみ、鍼を振動 させる。
⑥ 置鍼術 (ちしんじゅつ)	鍼を刺入し、一定時間とどめて反応を観察してから抜鍼。 ※ 渋鍼
⑦ 旋撚術 (せんねんじゅつ)	刺入時・抜鍼時・目的深度等に鍼を 左右交互に半回転 ずつひねる。 【 旋撚刺法 】
⑧ 回旋術 (かいせんじゅつ)	鍼を 一方向 に回しながら刺入。一定の深さで行うこともある。 抜鍼時は反対方向に回す (※ 渋鍼時有効)
⑨ 乱鍼術 (らんしんじゅつ)	数種の手技を併用して強い刺激を与える。
⑩ 副刺激術 (ふくしげきじゅつ)	鍼周囲の皮膚を 鍼管や指頭 で叩き、響きを与える。 ※ 渋鍼 【 気迫法 】
⑪ 示指打法 (じしだほう)	刺入した鍼に 鍼管をかぶせ、弾入 のように鍼管上端を叩く。 ※ 渋鍼
⑫ 随鍼術 (ずいしんじゅつ)	呼吸 に合わせる(刺鍼時：呼気時に刺入・吸気時に止)(抜鍼時：吸気時に抜き、呼気時に止)
⑬ 内調術 (だいちょうじゅつ)	鍼柄を 鍼管で叩打 し、鍼体に動揺を与える。(※ 渋鍼)
⑭ 細指術 (さいしじゅつ)	刺鍼部位に 弾入・切皮のみ を繰り返し行う。
⑮ 管散術 (かんさんじゅつ)	鍼管のみ を立てて、弾入の要領で上端を叩打する。 ※ 鍼不使用
⑯ 鍼尖転移法 (しんせんてんいほう)	鍼尖を皮下にとどめ、押手・刺手とともに皮膚を 縦横輪状に移動 させて刺激を与える。
⑰ 刺鍼転向法 (ししんてんこうほう)	鍼を皮下まで引き抜き、新たな方向に刺入する。

① 単刺術



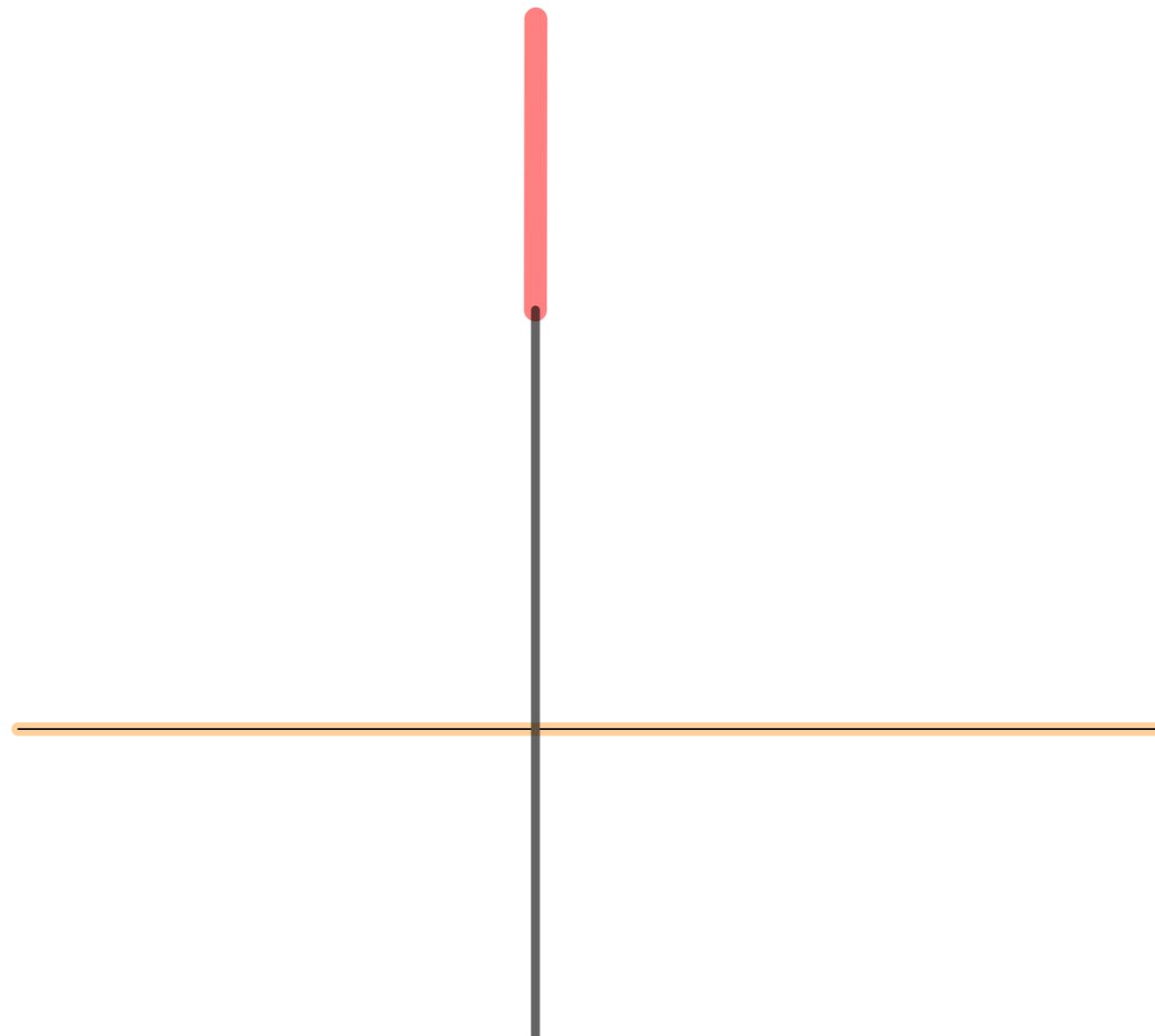
切皮



目的深度



抜鍼



鍼を目的の深さまで刺入したら**すぐに抜鍼**。動揺させず軽い刺激。

②雀啄術



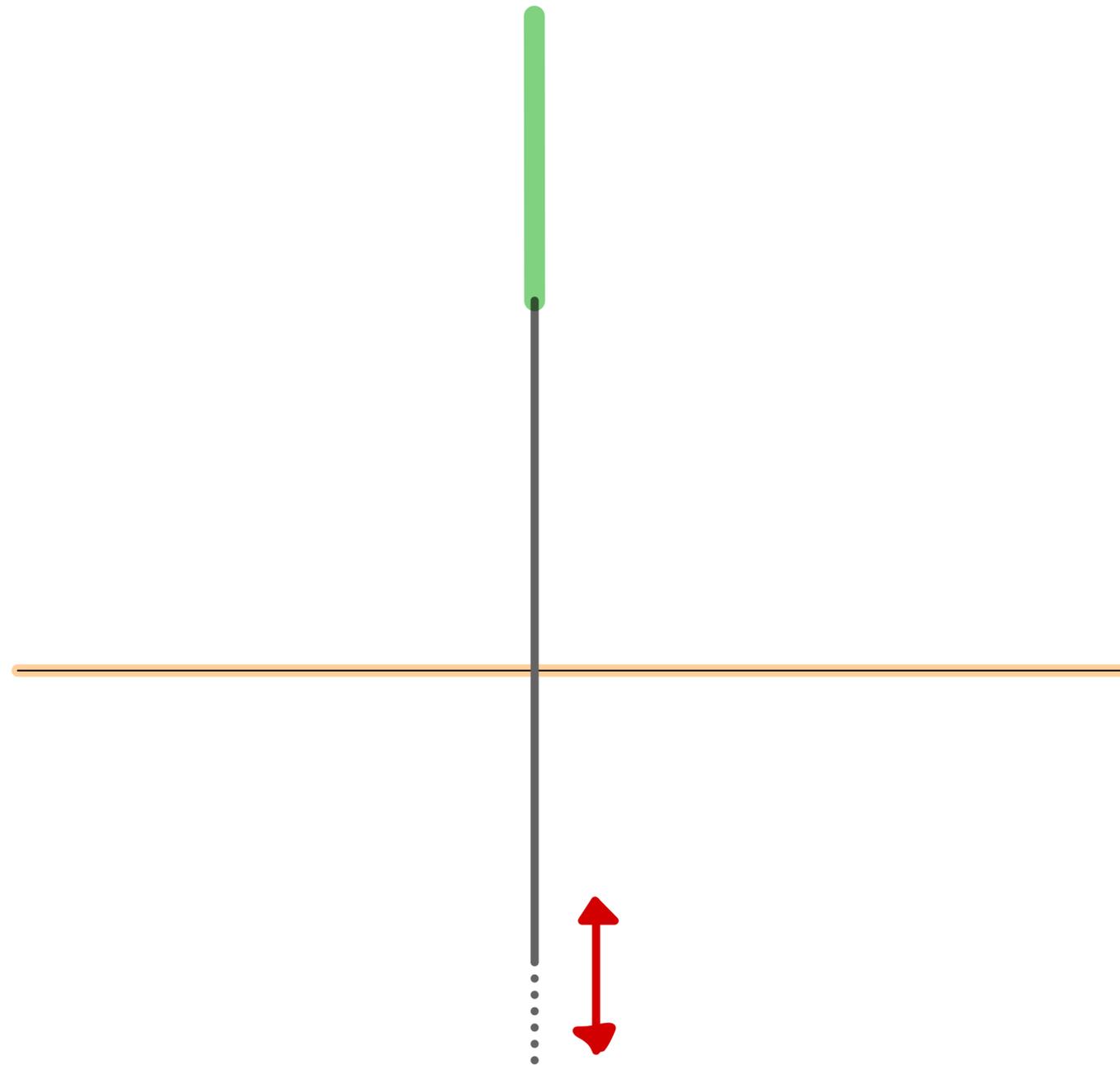
切皮



目的深度

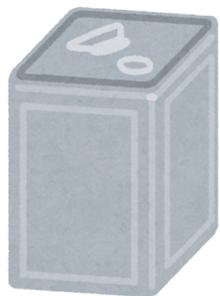


上下進退

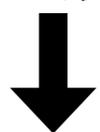


刺入後、鍼を上下に進退させる。上下動の速さや深さで刺激の強さ調整。

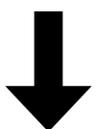
③ 間歇術



切皮



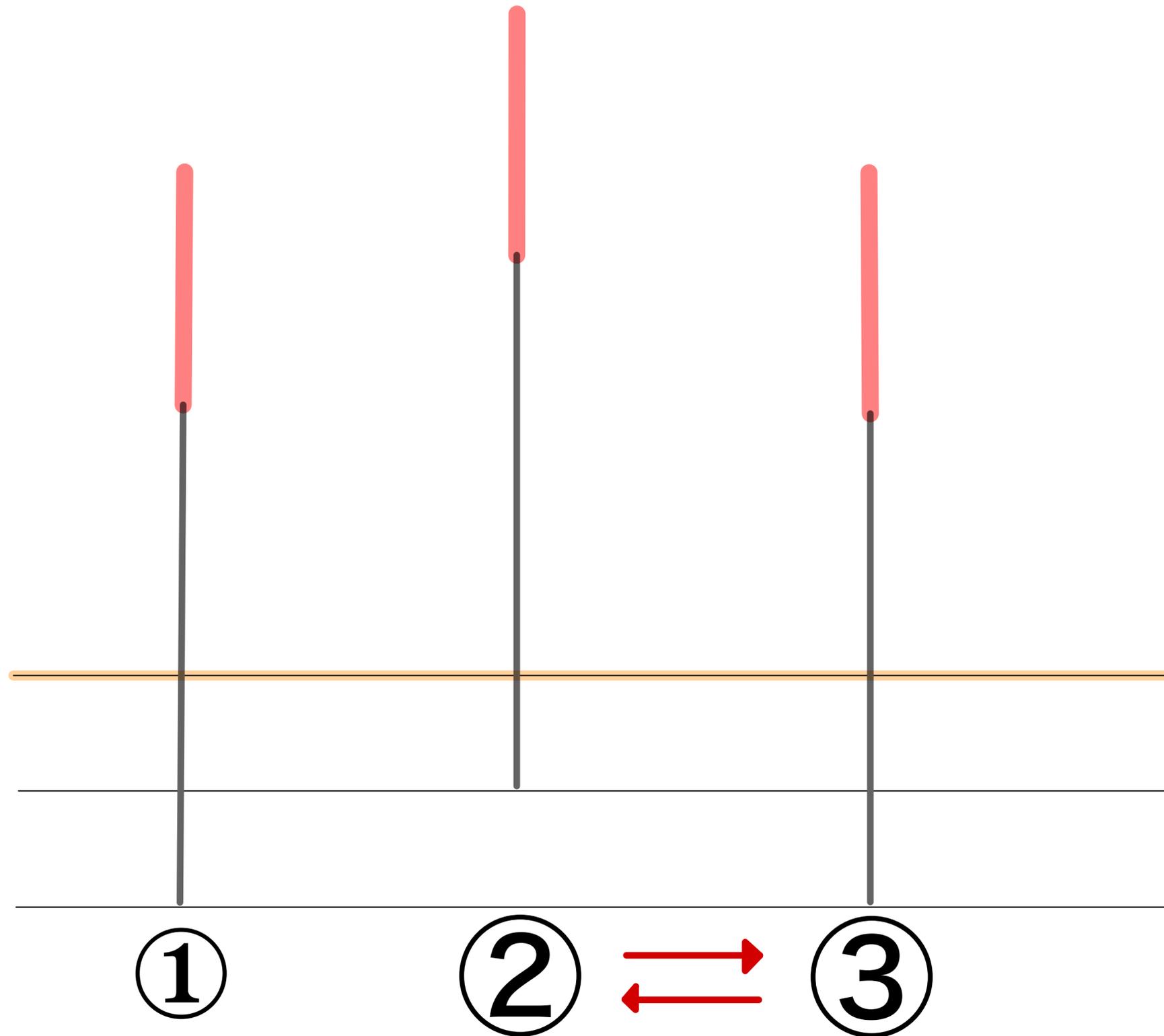
① 目的深度



② 半分抜き留め



③ 再度刺入留め



目的深度に刺入後、半分抜きしばらく留め、再度刺入ししばらく留めるを繰り返す。

④ 屋漏術

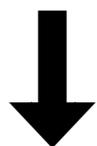


切皮



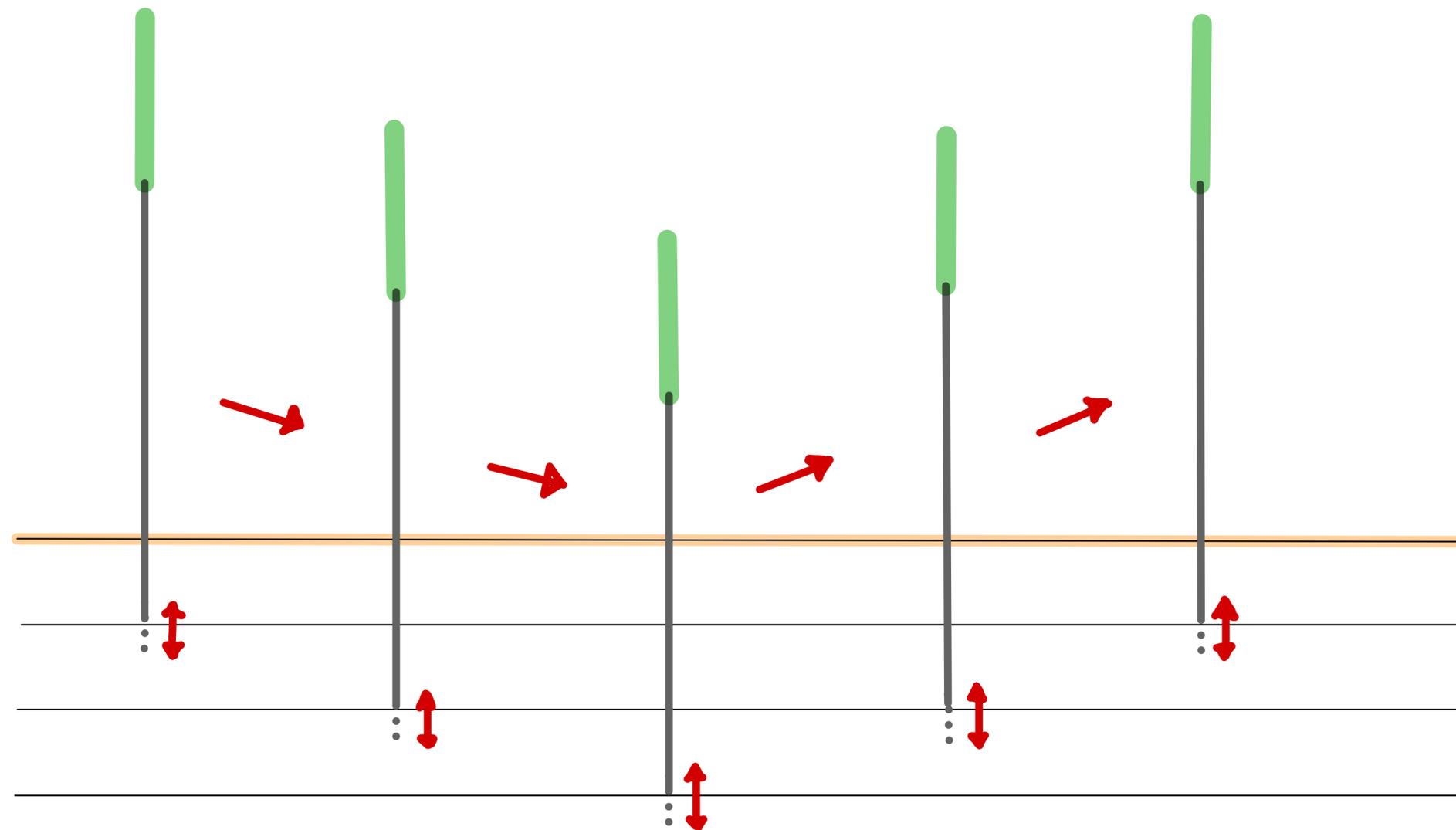
目標深度の1/3ずつ

刺入し雀啄



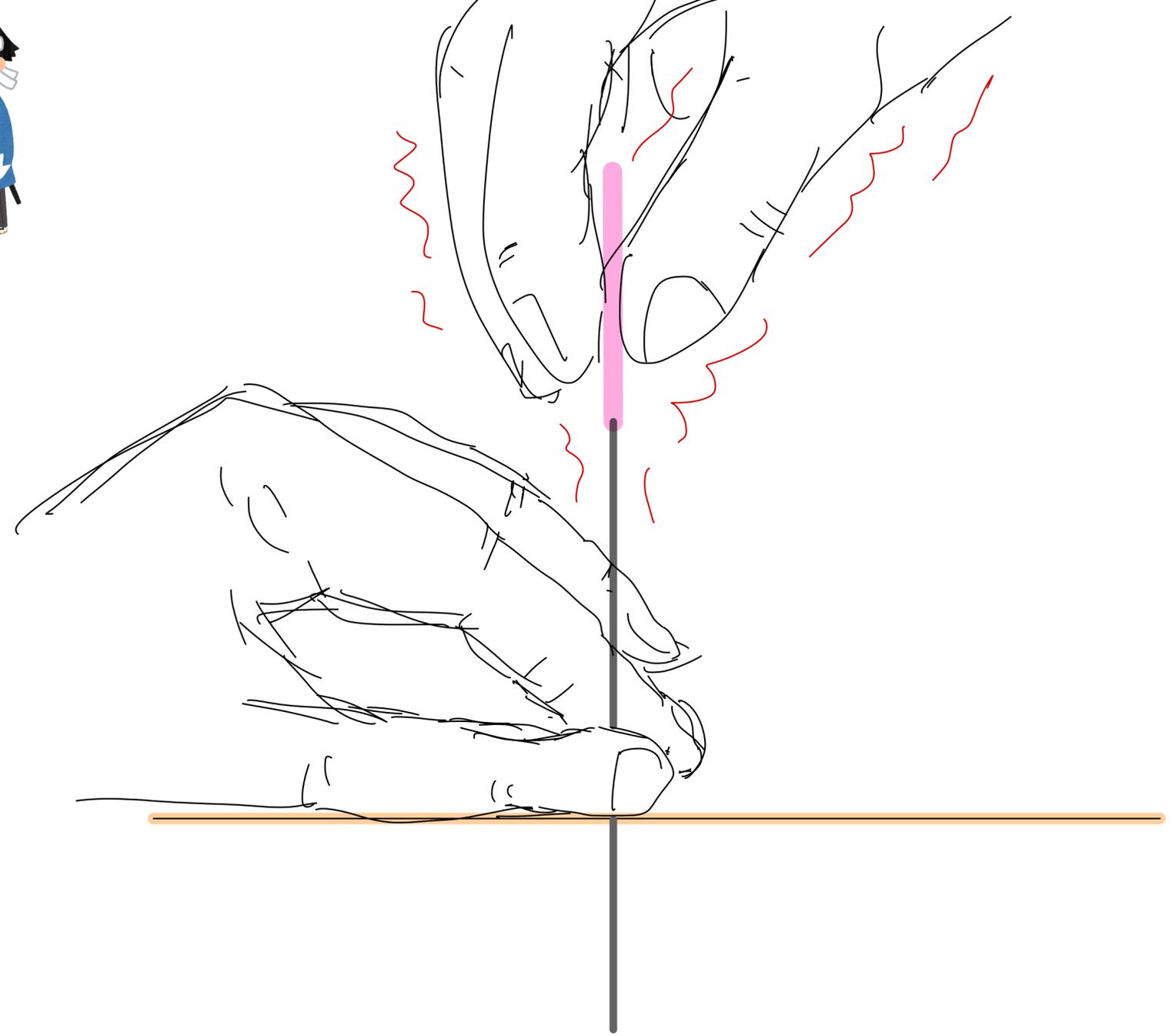
目標深度の1/3ずつ

抜去し雀啄

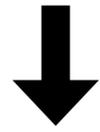


1/3ずつ刺入しながら各所で雀啄。刺入と逆順で抜鍼。

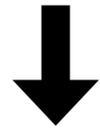
⑤ 振せん術



切皮



目的深度



鍼柄を刺手で

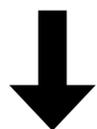
つまみ**振動**



鍼柄を刺手でつまみ、鍼を振動させる。

⑥置鍼術

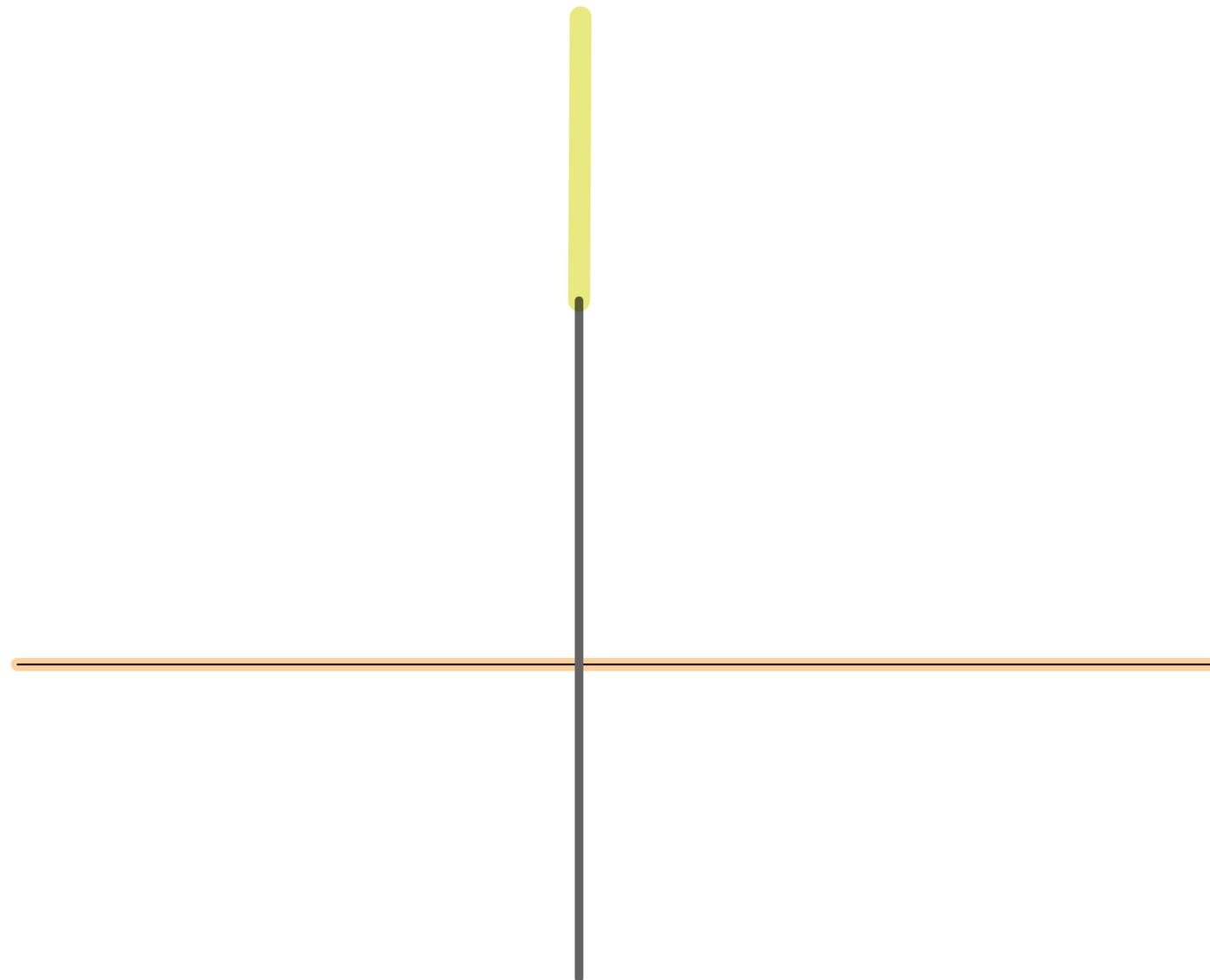
切皮



目的深度



留めて観察

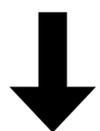


鍼を刺入し、一定時間とどめて反応を観察してから抜鍼。 ※**渋鍼**

⑦ 旋撚術

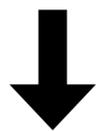


切皮

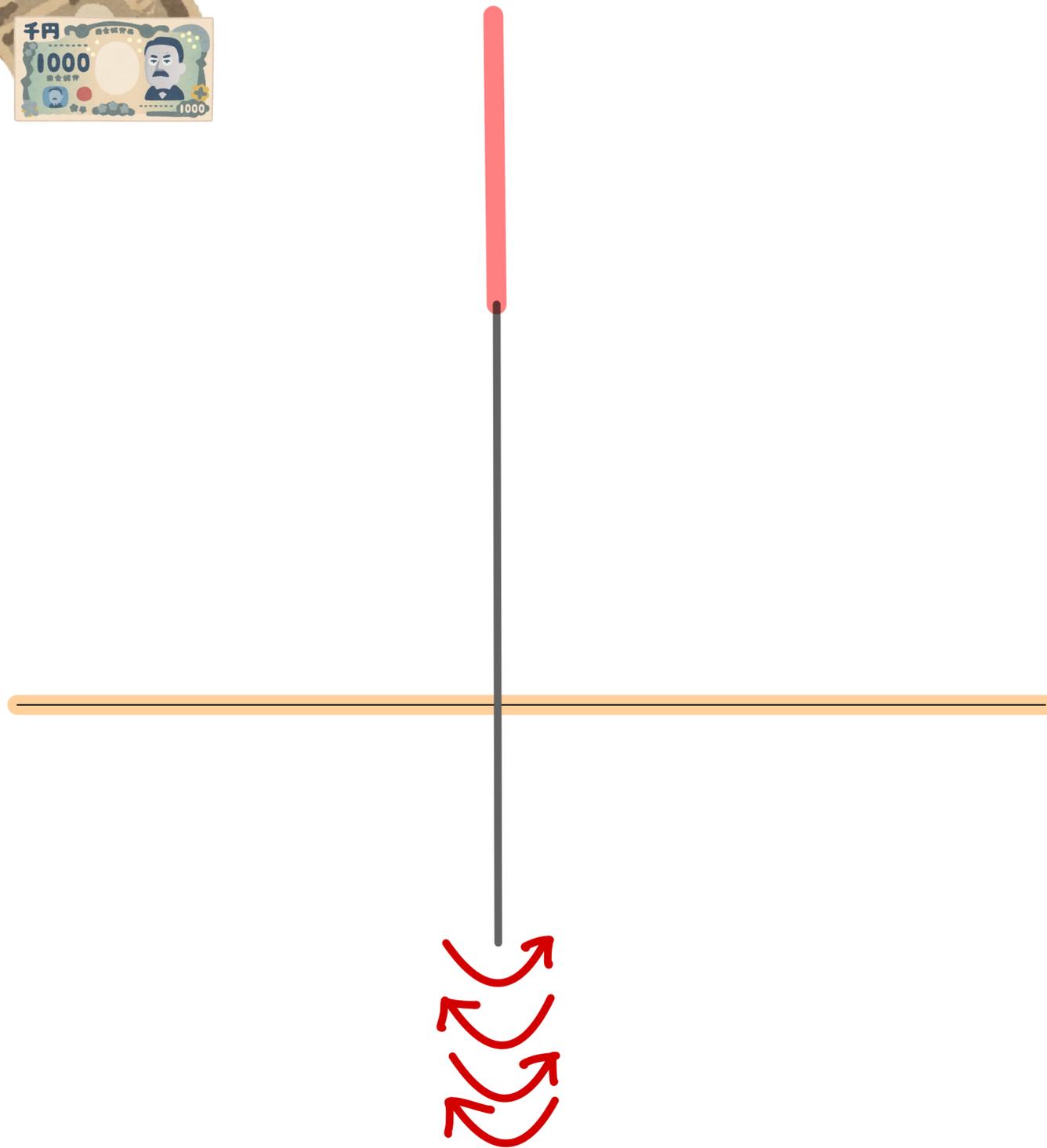


刺入時・抜鍼時・目的深度

左右交互に半回転



抜鍼

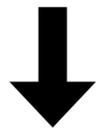


刺入時・抜鍼時・目的深度等に鍼を左右交互に半回転ずつひねる。【旋撚刺法】

⑧回旋術

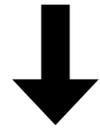


切皮



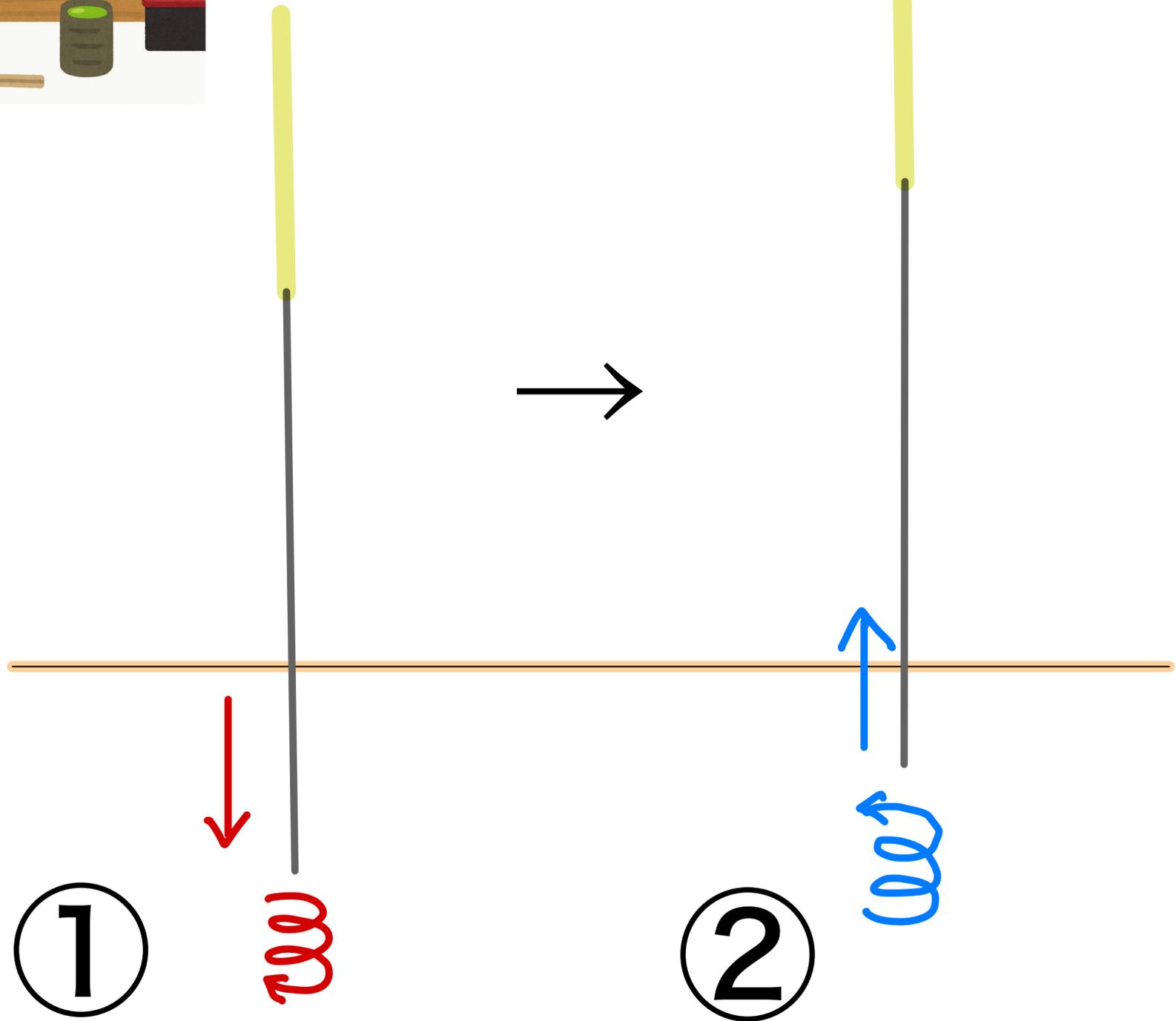
① 一方向に回旋

目的深度



抜鍼時

② 逆方向に回旋

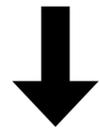


鍼を**一方向**に回しながら刺入。一定の深さで行うこともある。**抜鍼時**は**反対方向**に回す。
(※渋鍼)

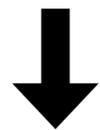
⑨乱鍼術



切皮



手技を併用



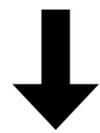
抜鍼



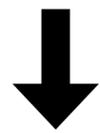
数種の手技を併用して強い刺激を与える。

⑩副刺激術(気迫法)

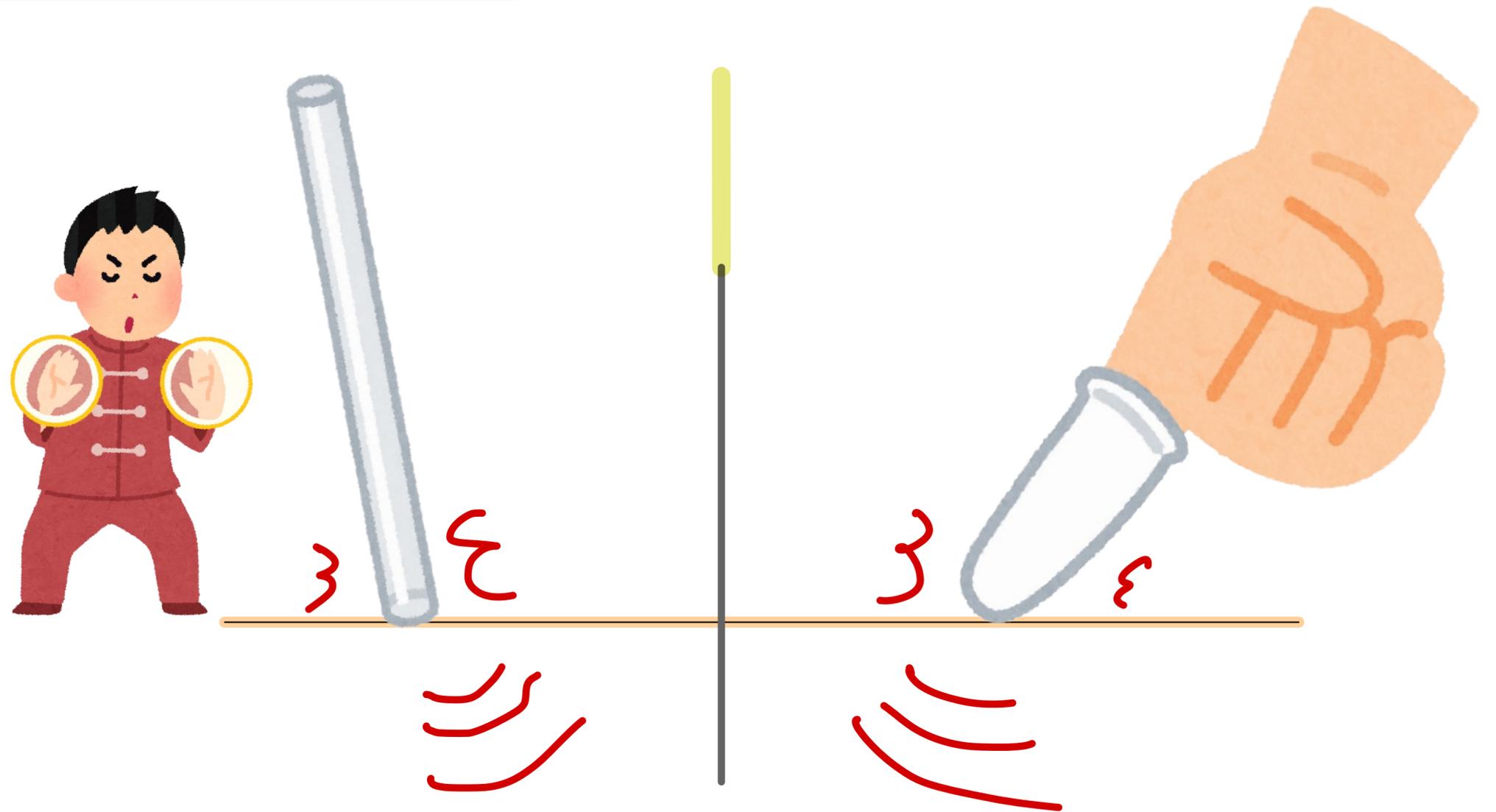
切皮



鍼周囲を鍼管・指頭で叩き
響きを与える



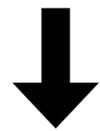
抜鍼



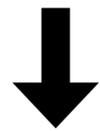
鍼周囲の皮膚を鍼管や指頭で叩き、響きを与える。 ※洗鍼

⑪ 示指打法

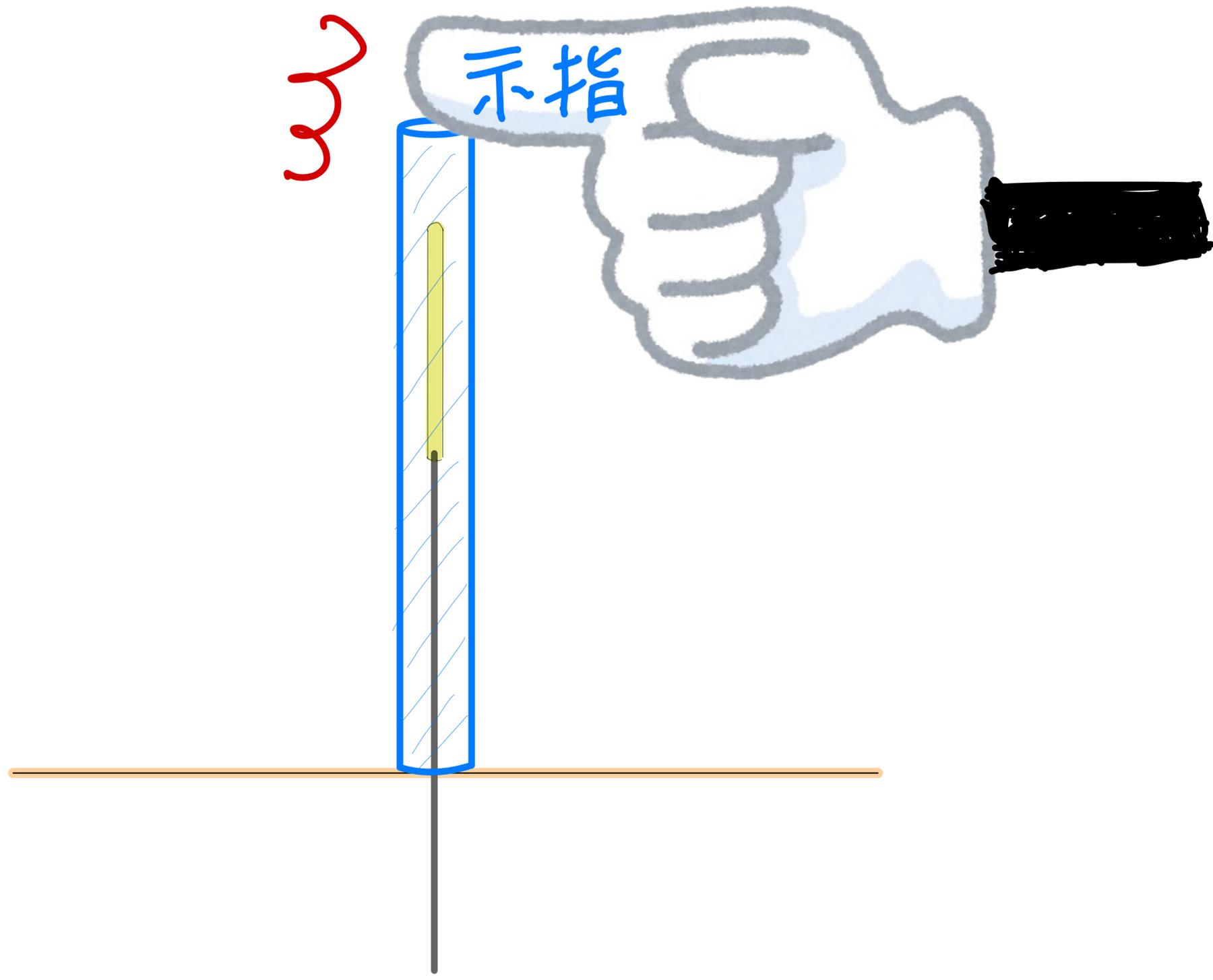
切皮



目的深度



鍼管かぶせて
弾入動作

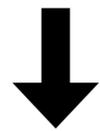


刺入した鍼に鍼管をかぶせ、弾入のように鍼管上端を叩く。 ※ 渋鍼

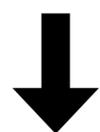
⑫ 随鍼術



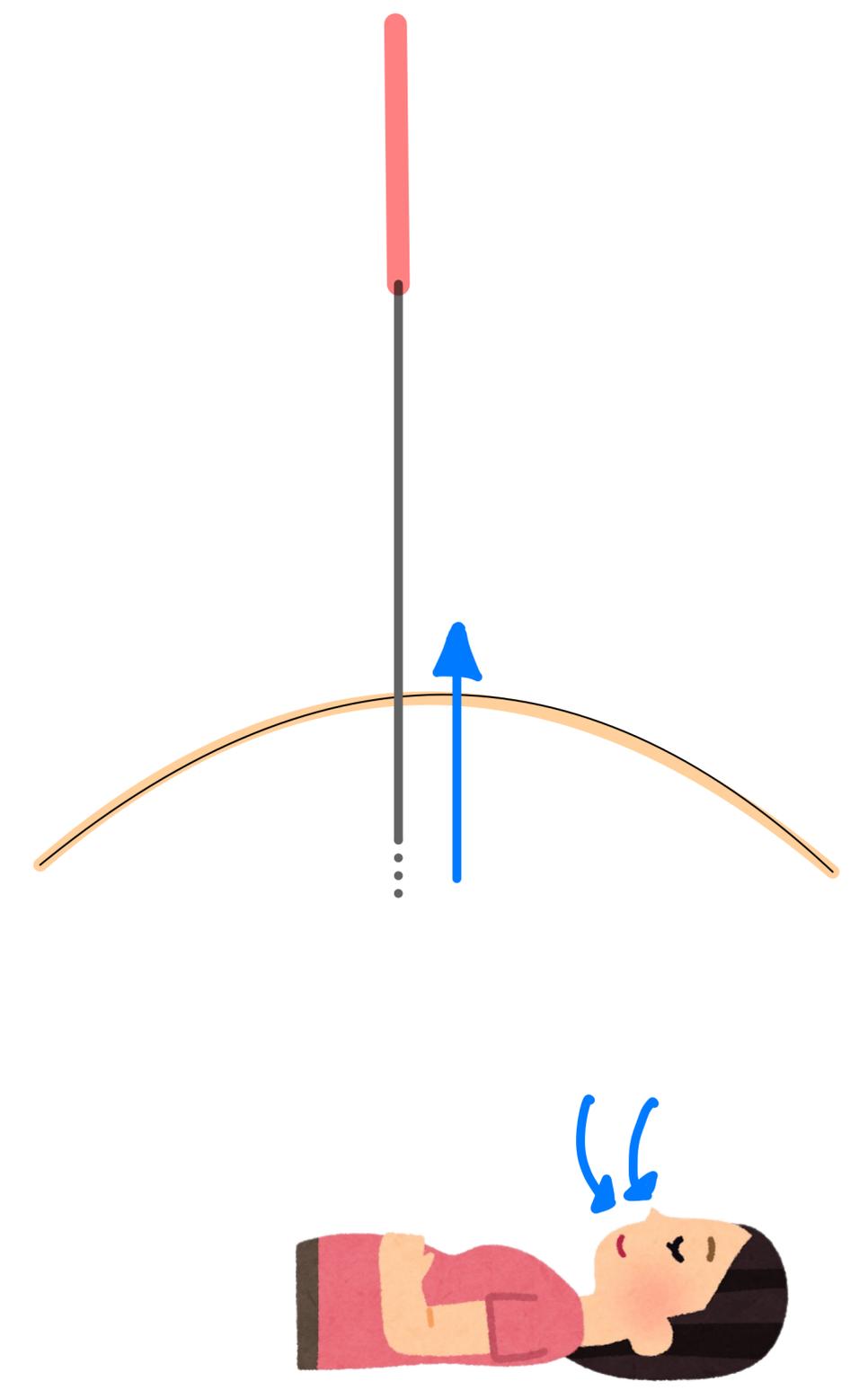
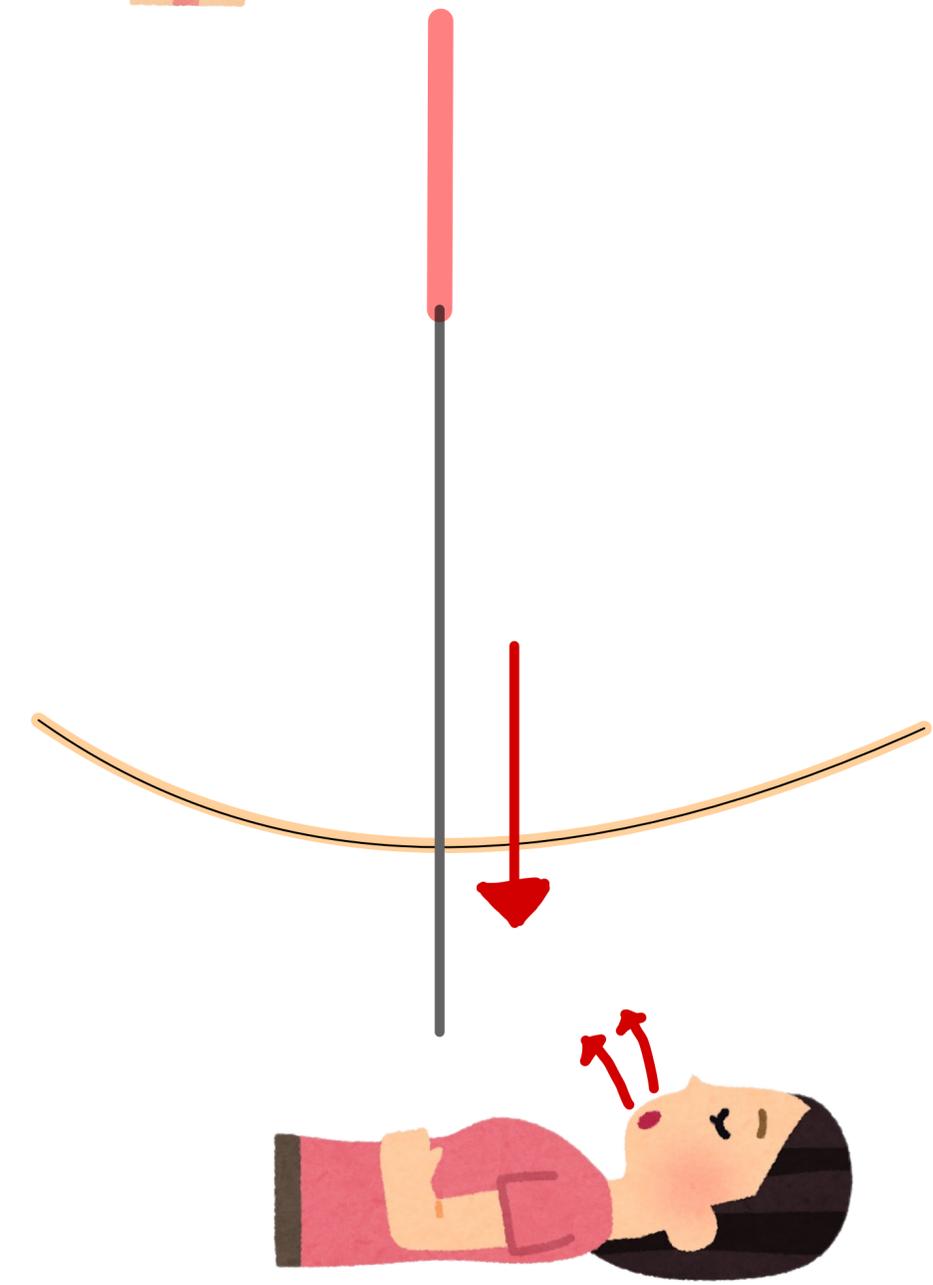
切皮



呼刺



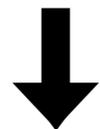
吸抜



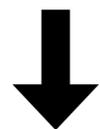
呼吸に合わせる(刺鍼時：呼気時に刺入・吸気時に止)(抜鍼時：吸気時に抜き、呼気時に止)

⑬ 内調術

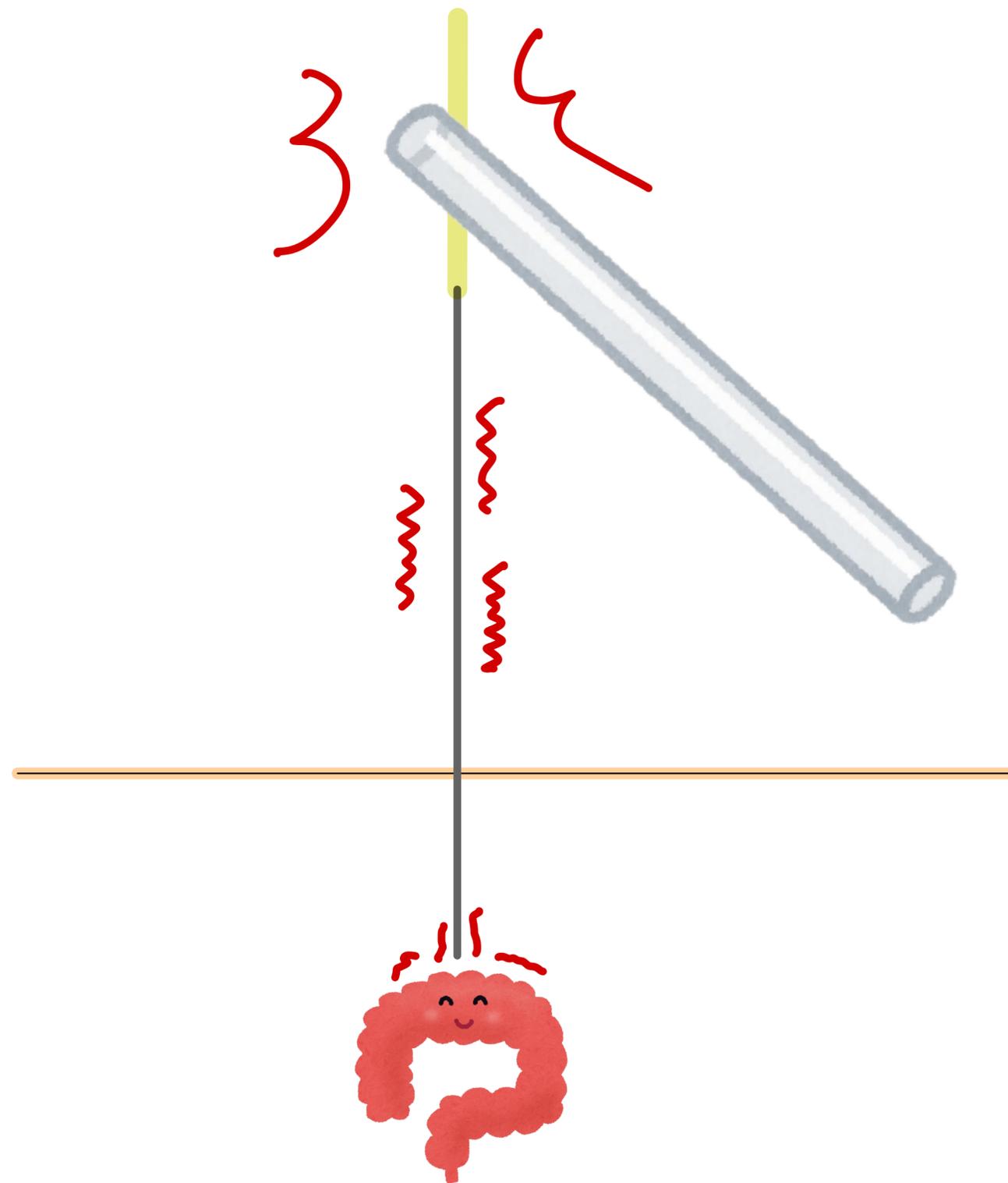
切皮



目的深度

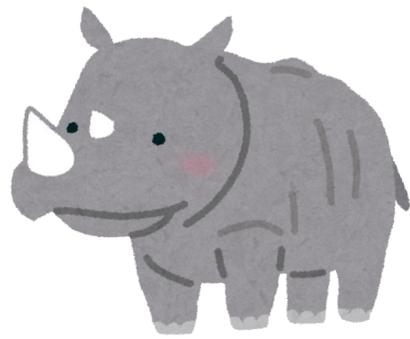


鍼柄を鍼管で叩打



鍼柄を鍼管で叩打し、鍼体に動揺を与える。（※渋鍼）

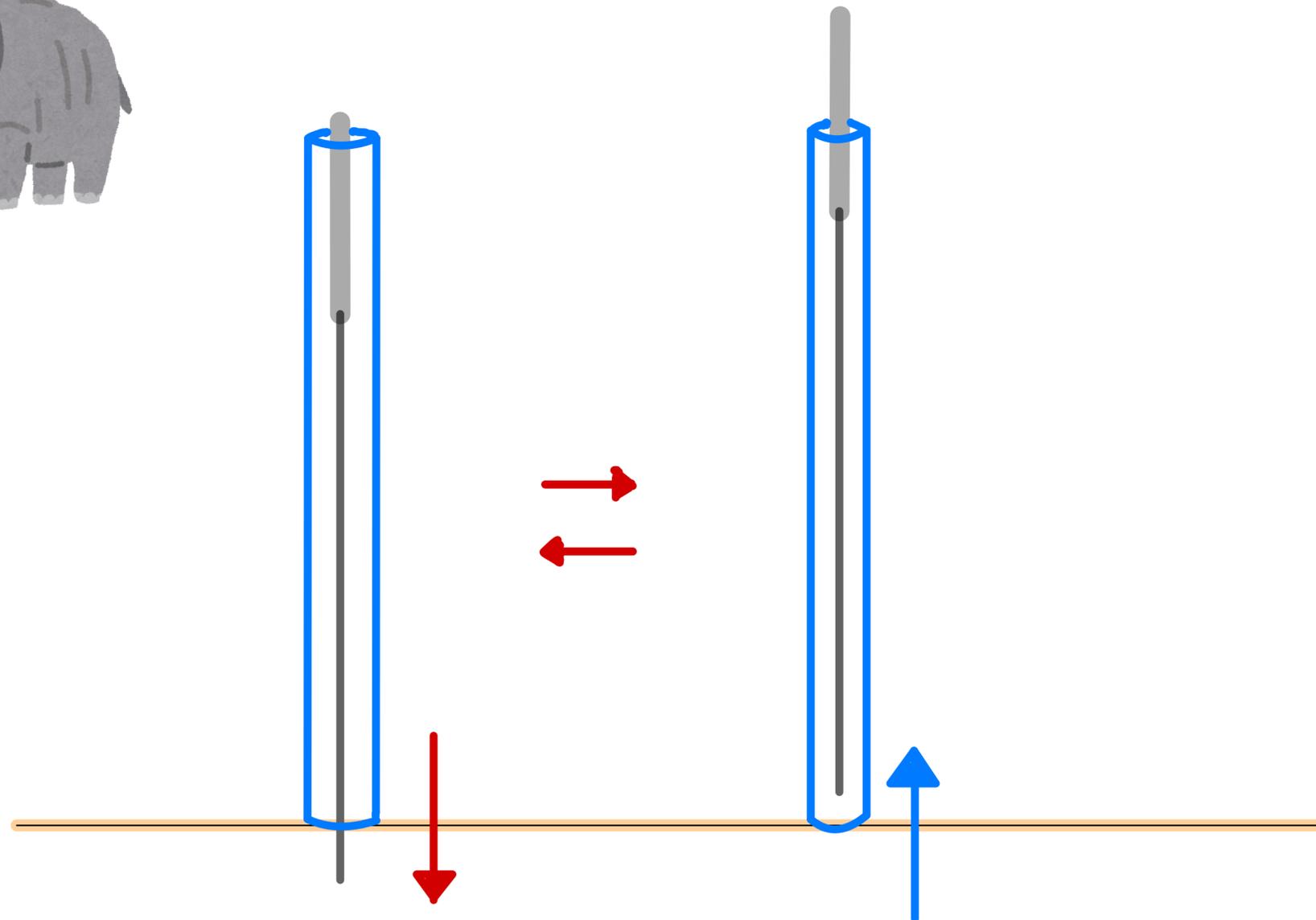
①4 細指術



切皮弾入

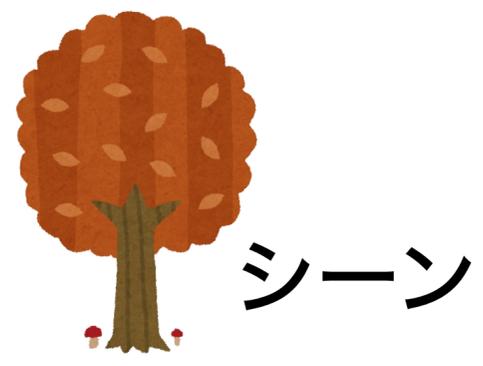


抜鍼

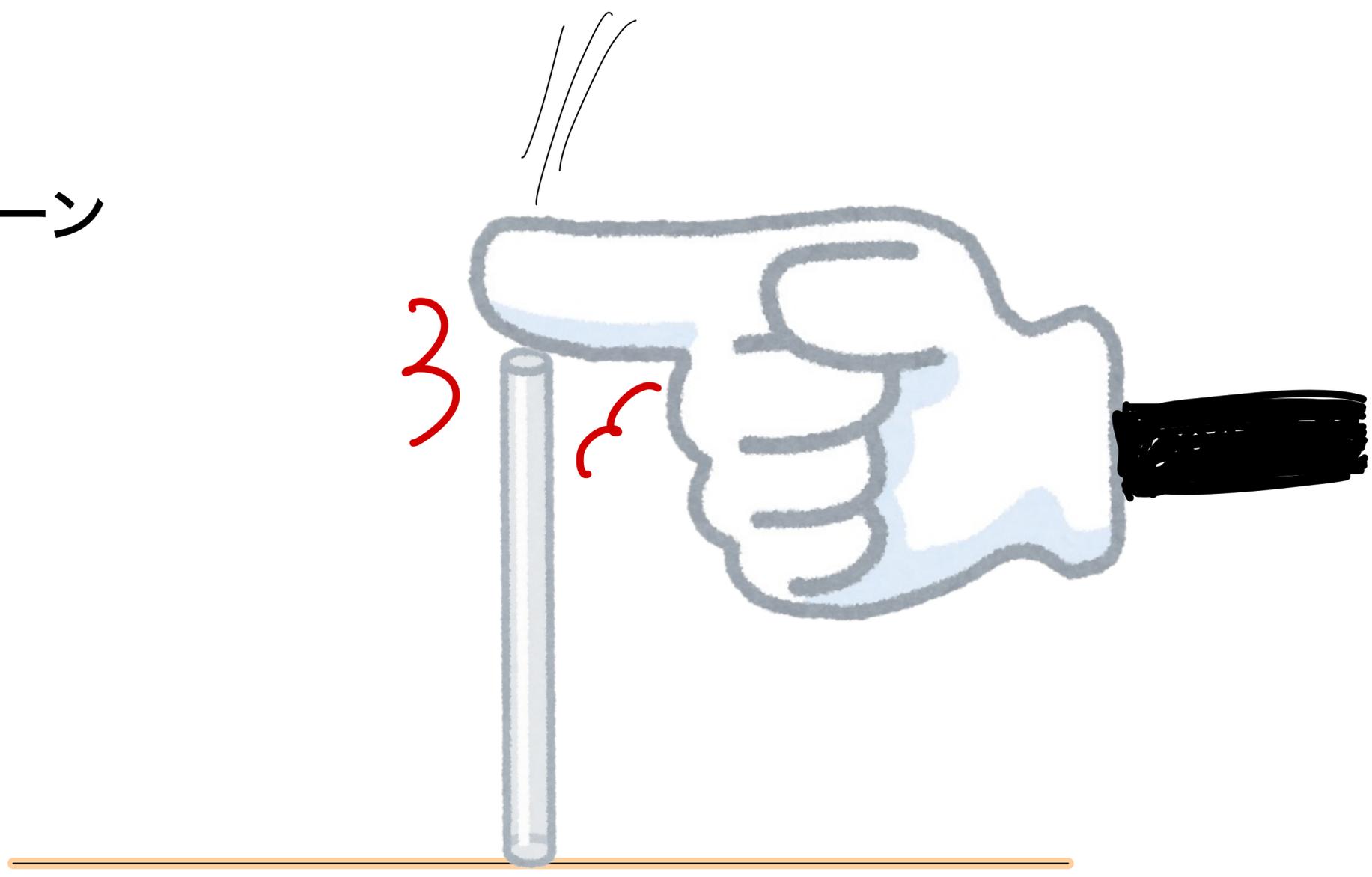


刺鍼部位に弾入・切皮のみを繰り返し行う。

⑮ 管散術



鍼管立てる
↓
弾入動作

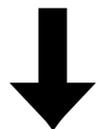


 鍼管のみを立てて、弾入の要領で上端を叩打する。【鍼不使用】

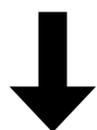
①6 鍼尖転移法



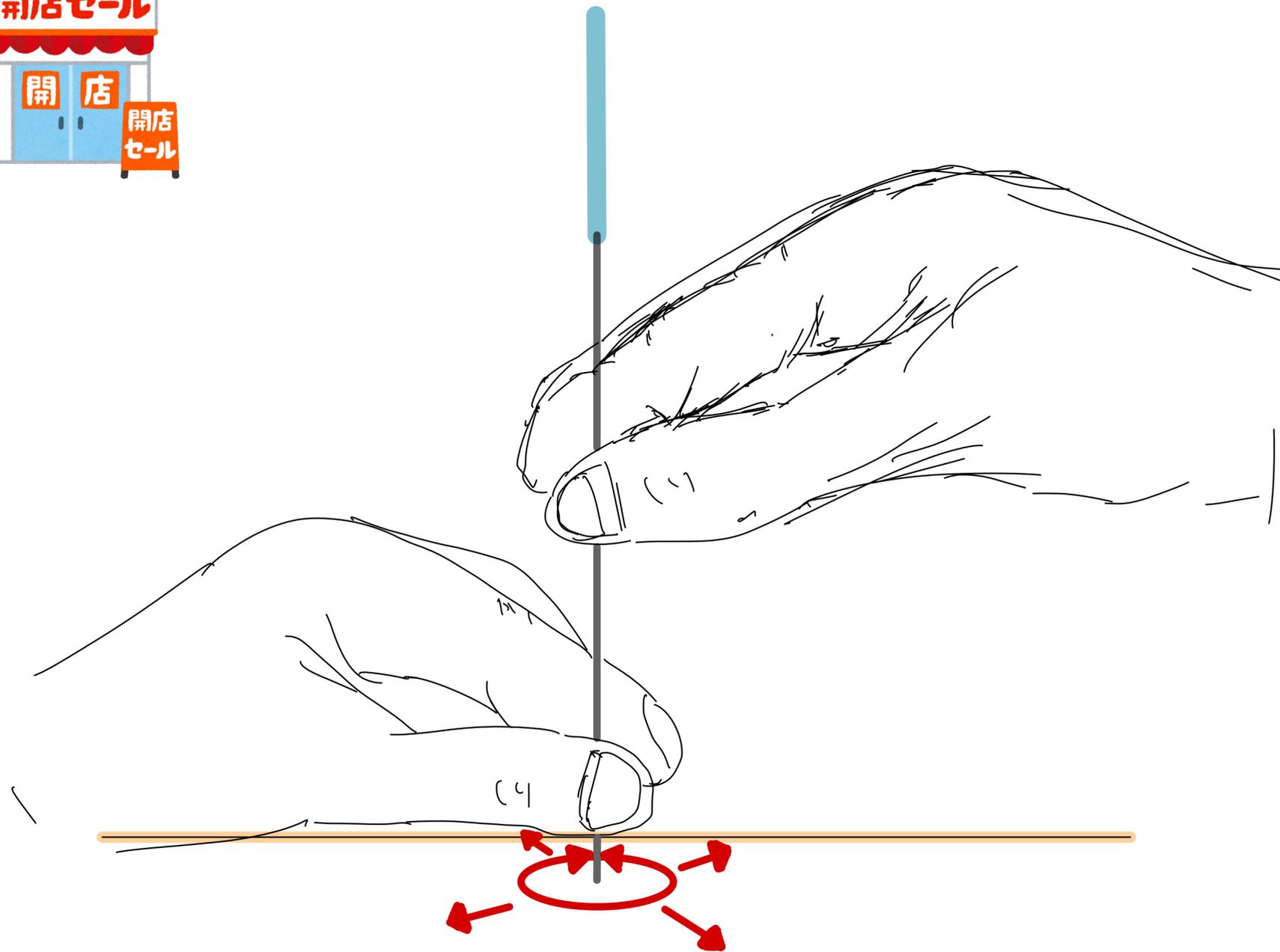
切皮弾入



鍼尖を皮下に留め



押手と刺手で
縦横輪状に移動

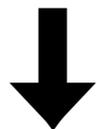


鍼尖を皮下にとどめ、押手・刺手とともに皮膚を縦横輪状に移動させて刺激を与える。

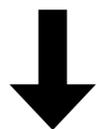
①7 刺鍼転向法



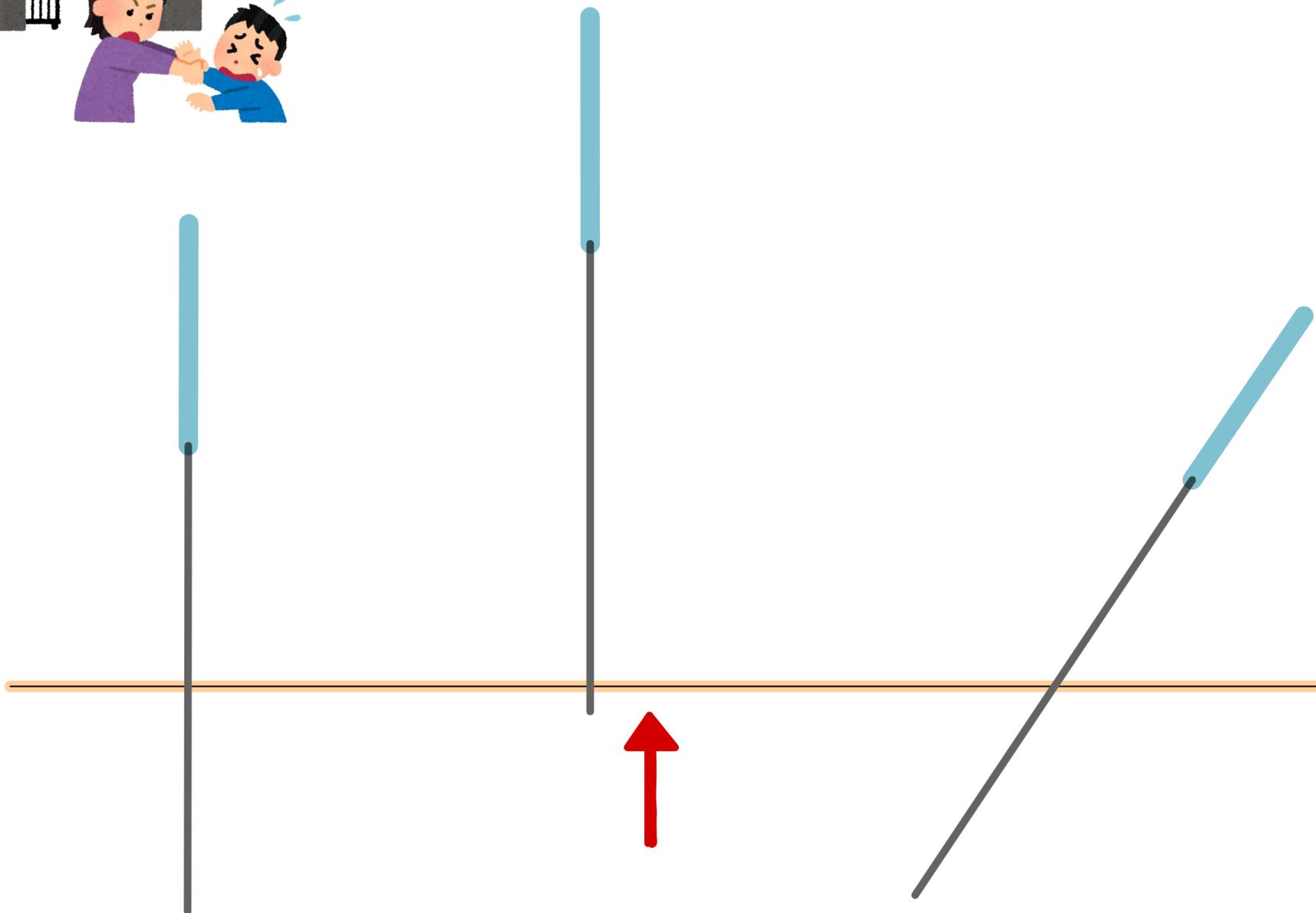
切皮刺入



皮下まで引き抜く



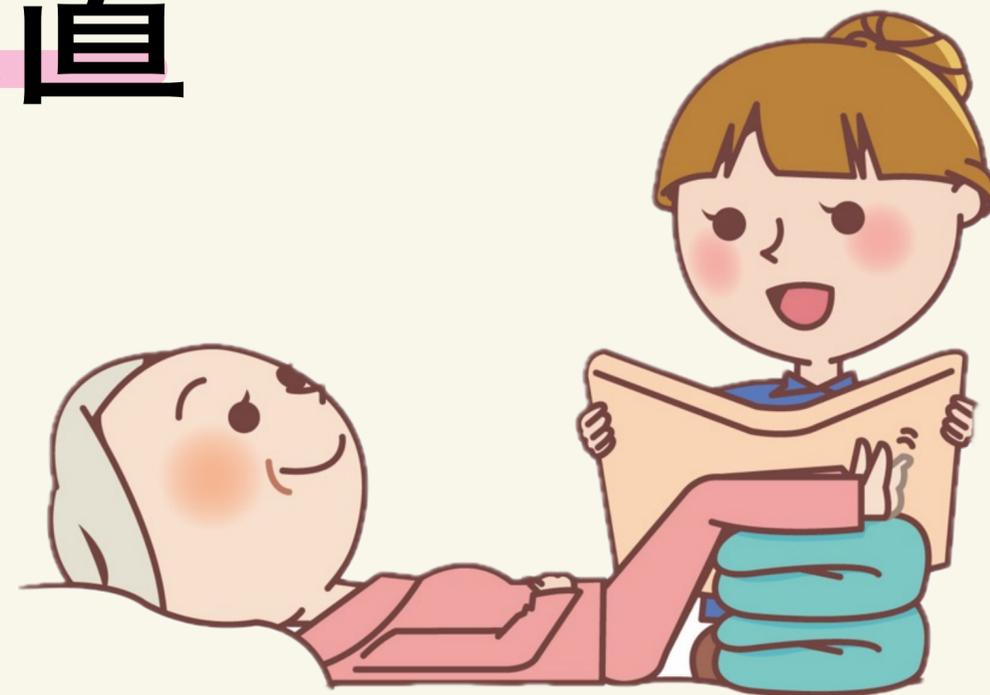
方向を変えて刺入



鍼を皮下まで引き抜き、新たな方向に刺入する。

脳貧血の時の処置

✓ 仰臥位で頭を低くする



✓ 四肢末端へ刺激する 【返し鍼】

例：合谷、足三里

NO!



刺入法の基本

✓ 旋撚刺法



→ 鍼を半回転ずつさせながら刺入

✓ 送りこみ刺法

→ 刺手の母指で送り込むように刺入